

待望の大回顧展
20年ぶり

マティス展

HENRI The Path to Color
MATISSE:



2023.4.27(thu) – 8.20(sun)

<https://matisse2023.exhibit.jp/> お問い合わせ: 050-5541-8600 (ハローダイヤル)



東京都美術館
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM

主催: 公益財団法人 東京都歴史文化財団 東京都美術館、ポンピドゥー・センター／国立近代美術館

特別協賛: 大和証券グループ 協賛: ダイキン工業、大和ハウス工業、NISSHA 協力: 日本航空

後援: 在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本

展覧会公式 Twitter: @matisse2023

Centre
Pompidou
Paris

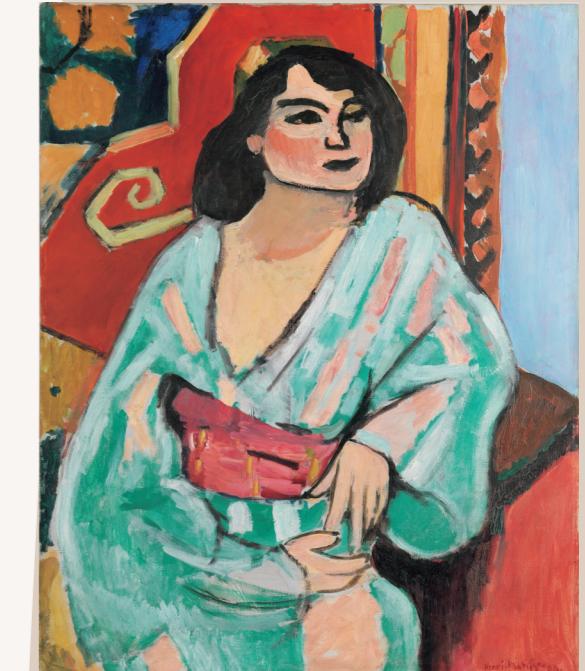
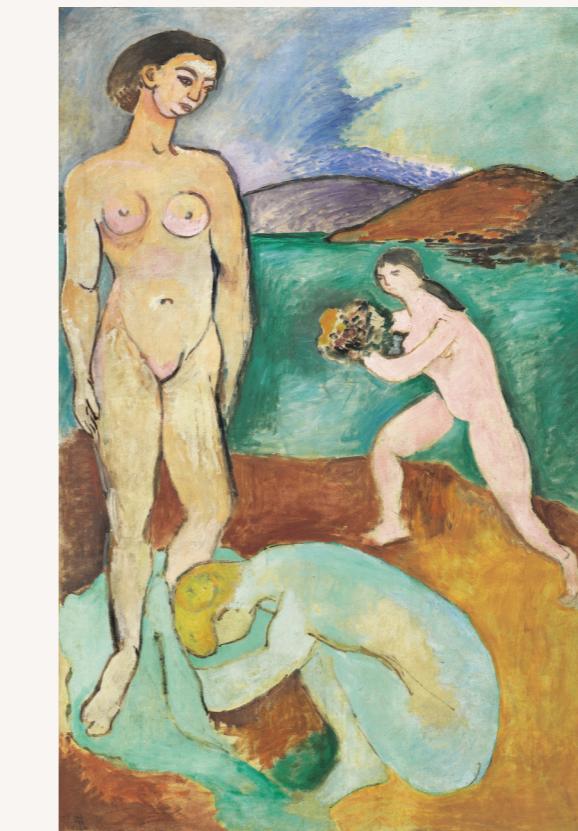


20世紀を代表するフランスの巨匠、アンリ・マティス（1869–1954年）。純粋な色彩による絵画様式であるフォーヴィズム（野獣派）を生みだし、モダン・アートの誕生に決定的な役割を果たした彼は、84歳で亡くなるまでの生涯を、感覚に直接訴えかけるような鮮やかな色彩と光の探求に捧げました。彼が残した仕事は、今なお色あせることなく私たちを魅了し、後世の芸術家たちにも大きな影響を与え続けています。

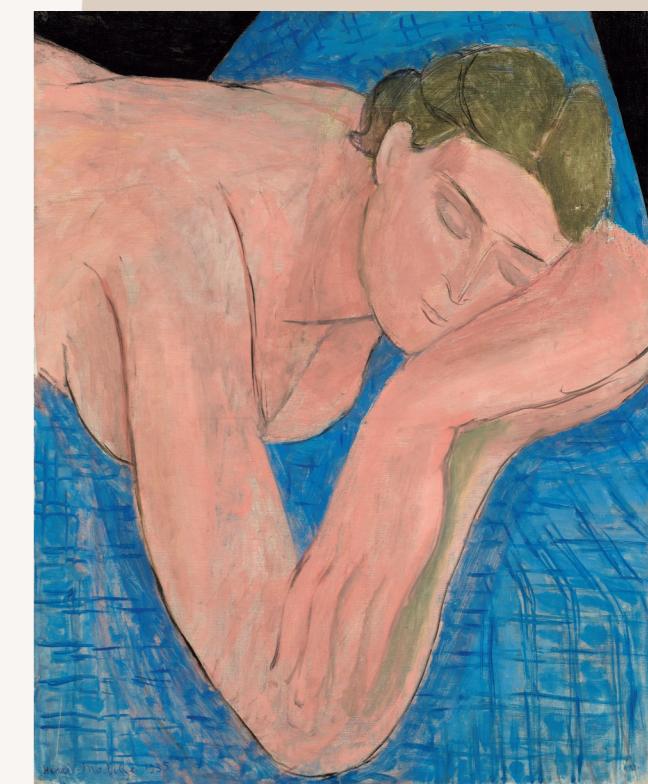
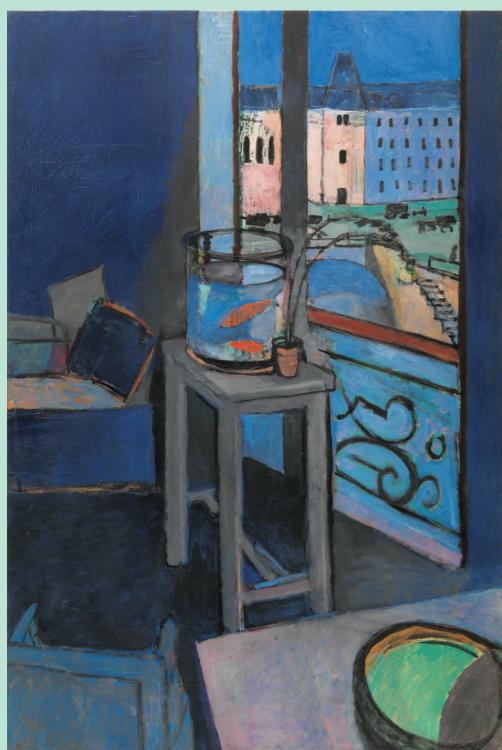
世界最大規模のマティス・コレクションを所蔵するポンピドゥー・センターの全面的な協力を得て開催する本展は、日本では約20年ぶりの大規模な回顧展です。絵画に加えて、彫刻、ドローイング、版画、切り紙絵、晩年の最大の傑作であり、マティス自身がその生涯の創作の集大成とみなした南仏ヴァンヌのロザリオ礼拝堂に関する資料まで、各時代の代表的な作品によって多角的にその仕事を紹介しながら、豊かな光と色に満ちた巨匠の造形的な冒險を辿ります。

A towering figure in 20th-century French art, Henri Matisse (1869–1954) played a crucial role in the birth of modernism as the inventor of Fauvism, a pictorial style based on pure color. Until his death at the age of 84, he devoted his life to the development of an innovative language of color and light, directly addressing the senses. His work still fascinates us today and continues to have a profound influence on new generations of artists.

Organized in partnership with the Musée national d'art moderne, Centre Pompidou, Paris, which holds one of the largest collections of Matisse's work in the world, Henri Matisse: The Path to Color is the first major retrospective of the artist's work in Japan in nearly twenty years. The exhibition traces Matisse's experiments in a wide range of techniques. On view are milestones in his pursuit of light and color, representative of each period: paintings, sculptures, drawings, paper cut-outs, books, as well as documents related to the creation of the Rosary Chapel in Vence in the south of France, one of the masterpieces of his last years by Matisse's own admission, the sum of a lifetime of creation.



若き日の挑戦から晩年の大作まで、 巨匠マティスの芸術をたどる色彩の旅



アンリ・マティス

1869年、北フランス、ノール県のル・カト＝カンブレジに生まれる。パリ国立美術学校でギュスターヴ・モローに師事したのち、伝統的な絵画から脱すべく模索を繰り返す。1905年のサロン・ドートンヌ展ではからずも「フォーヴィズム（野獣派）」のリーダーとして脚光を浴びる。後には南仏ニースに移住し、独特の光に触れるながら新たな調和と均衡を求めて絵画の革新を進め、集大成といわれる最晩年の南仏ヴァンヌのロザリオ礼拝堂まで、生涯色と形による造形的探究をつづけた。1954年ニースで没。

Born in 1869 in Cateau-Cambrésis, Northern France, Henri Matisse studied with Gustave Moreau at Paris's École des beaux-arts, before breaking away from traditional painting. In the Salon d'Automne of 1905, he emerged as the unwitting leader of a new movement, Fauvism, marking this event in the history of Western art. Later, his pictorial quest found a new momentum in his studio in Nice, Southern France, as he sought a new harmony and balance in contact with a different light. He continued his exploration of color and form throughout his life, right up to the Chapel of the Rosary in Vence, near Nice, the singular and monumental culmination of his career. Henri Matisse died in Nice in 1954.

© Man Ray Trust / Adagp, Paris Photo ©Centre Pompidou, MNAM-CCI / Dist. RMN-GP



1-8,10 ポンピドゥー・センター／国立近代美術館
Centre Pompidou, Paris, Musée national d'art moderne-Centre de création industrielle
9 ポンピドゥー・センター／国立近代美術館 カトー＝カンブレジ・マティス美術館寄託
Photo musée départemental Matisse, Philip Bernard

マティスの最高傑作

「ロザリオ礼拝堂」を4K映像で！



ロザリオ礼拝堂 堂内 ©NHK

マティスが最晩年に自身の集大成として手がけ、最高傑作のひとつともいわれる南仏・ヴァンスのロザリオ礼拝堂。生涯にわたり探求してきた技法を駆使して創出された、色と光にあふれた空間を撮影しました。

マティスが愛した午前11時に差し込む冬の光、そして1日の礼拝堂内の光の移ろいを、およそ5mに及ぶ巨大なスクリーンに上映します。展覧会のために撮り下ろされた4Kの高精細映像を、高輝度・高画質の映像機材でご堪能ください。

音声ガイド

マティスの芸術を愛する女優の上白石萌歌さんが、ナビゲーターに初挑戦。色、形、線の冒険の旅へ…さあ、一緒に出発しましょう！



上白石萌歌さんからのコメント

これまで、好きな画家を尋ねられた時、マティスです！と即答していた私。お話をいただいた時、こんな夢のようなことがあっていいのだろうかと震えました。いちファンとして嬉しさをかみしめながら、足を運ぶみなさまの気持ちに寄り添えるよう、精一杯努めます。
(公式サイトではコメント全文を掲載！)

会場レンタル版

貸出料金：お一人様1台650円(税込)

マティス展

〈会期〉2023年4月27日(木)~8月20日(日)

〈休室日〉月曜日、7月18日(火)※ただし、5月1日(月)、7月17日(月・祝)、8月14日(月)は開室

〈開室時間〉9:30~17:30 金曜日は20:00まで ※入室は閉室の30分前まで

〈会場〉東京都美術館 企画展示室

公式サイト <https://matisse2023.exhibit.jp/>

お問い合わせ 050-5541-8600 (ハローダイヤル)

展覧会公式twitter @matisse2023

展覧会公式Instagram @hmatisse2023

Henri Matisse: The Path to Color

Venue: Tokyo Metropolitan Art Museum (Tokyo Ueno-Park)

Dates: April 27 (Thu)~August 20 (Sun), 2023

Closed: Mondays (Except May 1, July 17, August 14) and July 18 (Tue)

Hours: 9:30~17:30 (Until 20:00 on Friday) Final admission 30 minutes before closing

Admission: General ¥2,200, Collage students ¥1,300, Seniors 65+ ¥1,500,

Weekday Audio guide included discount ticket ¥2,750, Weekday pair discount tickets ¥4,000

High school students and younger are Free

*Advance reservation via online is necessary. Please check the official website before you visit.

展示作品等、展覧会の詳細については、今後の諸事情により変更する場合があります。



展覧会公式サイト

観覧料

日時指定予約制 Timed-entry tickets

当日券もあります。ただし数量限定につき、ご来場時に予定枚数が終了している場合があります。

一般 2,200円

大学生・専門学校生 1,300円

65歳以上 1,500円

高校生以下 無料

(日時指定予約必要)



詳細はチケットページへ

特別券

平日限定 音声ガイドセット券: 2,750円

販売時期: 4月13日(木)~7月28日(金)

利用期間: 5月 9日(火)~7月28日(金)

の平日限定

※数量限定販売のため、販売期間中でも売り切れる場合があります。

※公式チケットサイト(ART PASS)でのみ販売

※音声ガイド(会場レンタル版)は当日会場入口にて650円で、どなたでも借りることができます

平日限定 ペア券: 4,000円

販売時期: 4月13日(木)~7月28日(金)

利用期間: 5月 9日(火)~7月28日(金)

の平日限定

※数量限定販売のため、販売期間中でも売り切れる場合があります。

※公式チケットサイト(ART PASS)でのみ販売

注意事項

●チケットの販売方法及び入場方法については、今後変更となる可能性がありますので、最新情報を展覧会公式サイトでご確認ください。

●大学生・専門学校生は、5/13(土)と5/14(日)に限り無料(日時指定予約必要)

●身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその付添いの方(1名まで)、未就学児は無料(日時指定予約不要)

●高校生・大学生・専門学校生、65歳以上の方、各種お手帳をお持ちの方は、いずれも証明できるものをご提示ください。

〈アクセス〉

〒110-0007 東京都台東区上野公園8-36

OJR上野駅「公園口」より徒歩7分

○東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅「7番出口」より徒歩10分

○京成電鉄京成上野駅より徒歩10分

※駐車場はありませんので、車でのご来館はご遠慮ください。

